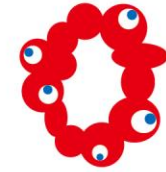


2025年日本国際博覧会  
(大阪・関西万博)  
関西パビリオン出展基本計画

2023年（令和5年）5月

関西広域連合

# 目次



OSAKA, KANSAI, JAPAN  
EXPO2025



©Expo 2025

0. はじめに	• • • • • • • • • •	1
1. 2025年日本国際博覧会の概要	• • • • • • • • • •	2
2. 全体概要	• • • • • • • • • •	3
3. 建築計画	• • • • • • • • • •	9
4. 展示計画	• • • • • • • • • •	12
5. 行・催事計画	• • • • • • • • • •	29
6. 運営計画	• • • • • • • • • •	40
7. 万博後を見据えた取組	• • • • • • • • • •	42
8. スケジュール	• • • • • • • • • •	43

# 0. はじめに

関西広域連合では、関西広域連合を構成する12の府県市の首長で構成する広域連合委員会において、2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）に向けた取組を進めてきました。

2021年3月に開催した広域連合委員会では、関西広域連合パビリオン共同出展に関する基本構想事務局案について協議し、同年9月の広域連合委員会において、関西広域連合パビリオン（以下「関西パビリオン」という。）の出展について決定しました。

また、2022年10月には関西パビリオンの建築計画の概要を公表するとともに、2023年3月には大阪・関西万博関連情報や関西各府県の万博に向けた取組や観光情報を発信するプレサイトを公開するなど、出展に向け取り組んできました。

この「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関西パビリオン出展基本計画」は、関西パビリオンの出展にあたり、出展のコンセプトや建築計画、展示計画、運営計画などに係る基本的な方針を示すものです。

今後、本出展基本計画に沿い、関西パビリオンに参加する府県や大阪・関西万博の主催者である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」という。）をはじめとした関係機関と調整を図りながら、取組を進めていきます。

# 1. 2025年日本国際博覧会の概要

- ◆名称：2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
- ◆テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン  
（Designing Future Society for Our Lives）
- ◆サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う）  
Empowering Lives（いのちに力を与える）  
Connecting Lives（いのちをつなぐ）
- ◆コンセプト：People's Living Lab（未来社会の実験場）
- ◆会場：夢洲（大阪市臨海部）
- ◆開催期間：2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）
- ◆来場者想定：約2,820万人



大阪・関西万博  
公式キャラクター  
ミヤクミヤク

©Expo 2025



（提供 2025年日本国際博覧会協会）

# 2. 全体概要

## (1) 関西パビリオンの出展概要

- ◆名称：関西パビリオン
- ◆テーマ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在
- ◆出展参加でめざすもの：「地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信」

「関西各地へのゲートウェイ」

- ◆位置：東通り北側（下図参照）
- ◆出展の主体：関西広域連合
- ◆出展参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県

福井県、三重県

- ◆基本構成：①関西全体を表現する展示エリア  
②出展参加府県による独自展示エリア  
③WEBパビリオン



提供 2025年日本国際博覧会協会

## 2. 全体概要

### (2) 出展の意義

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関しては令和5年5月8日から5類感染症に変更されるなど落ち着きを取り戻しつつありますが、ウクライナ情勢や気候変動などの世界共通の課題が大きな影響をもたらしています。大阪・関西万博は、COVID-19を乗り越えた先の新たな時代に向けて世界が持続する未来を模索する場となります。万博という場で世界が一つとなり、いのち輝く未来社会のありようを共有することで、世界の新たな一歩を踏み出していきます。

大阪・関西万博は、SDGsの目標年である2030年を見据え、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざすというSDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会となります。

開催地となる大阪・関西は、古代国家の基礎が築かれた地であり、世界遺産や国宝、重要文化財等の歴史観光資源が多く残り、伝統芸能や和食等の幅広い文化資源を有する地域です。産業の面においても、環境・ライフサイエンス分野や伝統工芸、先端技術産業の集積地として、日本の産業を牽引する地域でもあります。

このように多種多様な魅力を有する関西において、広域的な課題に取り組むため一つにまとまったのが関西広域連合(※)です。関西広域連合では、防災、観光・文化・スポーツ振興、産業振興、広域医療、環境保全などの課題に対し広域的に取り組む、行政課題の解決をリードしています。

関西パビリオンは、関西が一つとなった関西広域連合が主体となり、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、国内外の人々に関西の魅力を発信し、地域経済の活性化や観光客の来訪促進など、関西圏域の活性化を図っていきます。また、関西の各地域においても、大阪・関西万博を契機に、多様な価値観の交流により生まれる新たなイノベーションの創出や地域の魅力の再発見などにより、人々の生活の質（QOL）の向上や地方創生の実現をめざします。

※関西広域連合構成府県市：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

※福井県・三重県も関西広域連合の連携団体として必要に応じ連携・協力

## 2. 全体概要

### (3) 出展参加のテーマ

関西パビリオンが出展参加するにあたってのテーマは「いのち輝く関西悠久の歴史と現在」です。このテーマには、関西の悠久の歴史（過去）と現在に触れ、感じてもらうことで、未来の姿を来訪者それぞれに描いてもらいたいという思いを込めています。

#### ①悠久の歴史（過去）

関西には、ユネスコの登録世界遺産として、姫路城、法隆寺地域の仏教建造物、古都京都・奈良の文化財、紀伊山地の霊場と参詣道、百舌鳥・古市古墳群の6件が登録され、文化庁が認定している日本遺産も全国の3割に相当する32件が登録されるなど、日本の歴史を感じられる貴重な遺産が数多くあります。

世界・日本遺産のほかにも、能や狂言、文楽などの伝統芸能、各地域の祭りなどの行催事といった無形の文化財が根付いています。これらを通じ、関西の悠久の歴史を肌で触れ、感じられる展示を展開していきます。

#### ②現在

歴史・文化を受け継ぎ、未来へつなげていくためには、時代に合わせ社会と調和を図っていくことが重要であり、関西パビリオンでは、悠久の歴史（過去）を受け継いだ現在の姿も表現していきます。

各地域の魅力を最新技術などを用いて表現し、現在の関西をより深く体感してもらいます。また、各地で発展してきた産業の最新技術も会場内外で発信することで、イノベーションを加速化させ、より良い「現在（いま）」を表現します。

#### ③未来

来訪者の皆さんには、関西の過去・現在をご覧ください。そこから何を感じ、どのような行動につながっていくのかは人それぞれです。展示を通して感じ取り、想像する関西の「未来社会のデザイン」が、来訪者ひとりひとりの心の中に生まれ、イメージーションを刺激するパビリオンをめざしていきます。

## 2. 全体概要

### (4) 出展参加でめざすもの

大阪・関西万博のテーマを踏まえ、参加府県の創意工夫のもと、各地域の生活環境、地域産業、観光・文化等の魅力を体現し、日本で最も長く息づき根付いてきた地域の「いのち」の姿と未来へと続く「いのち」の姿を国内外の人々に伝え、関西各地への来訪を促すゲートウェイとなるパビリオンをめざします。

#### ① 地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信

##### ● 受け継がれてきた歴史と観光文化資源に彩られた地域の魅力

古代の都・奈良、千年の都・京都をはじめとし、関西は長きにわたり受け継がれてきた歴史・文化を有し、現在も観光・文化資源として地域の魅力の源泉として息づいています。そのような地域の魅力を体感できる展示をめざします。

##### ● 住みよく働きやすい地域の力

関西は、大阪・京都・神戸のような大都市、太平洋・瀬戸内海・日本海に面した沿岸のまち、緑豊かな自然に囲まれた内陸のまち、日本最大の湖・琵琶湖に面した湖岸のまちなど、多彩な環境の中で人々が暮らしています。パビリオンにおける展示や各地域での取組を通じ、住みよく働きやすい地域の力に触れてもらうことで、移住・定住の促進を図ります。

##### ● 新たな産業を創出する地域の活力

関西が強みを有するライフサイエンスやグリーン（新エネルギー・省エネルギー）分野の更なる深化、高い技術力を有する中小企業によるものづくり産業のイノベーション促進など、万博を契機とした新技術やサービスなどを実装・実証し、誰もが心身豊かで快適に暮らしやすい未来社会のモデルを創造し、提案できる取組をめざします。

#### ② 関西各地へのゲートウェイ

##### ● 関西各地への来訪を促す展示

来訪者に関西地域での暮らし・仕事・楽しみを示し、万博会場から関西各地へ、また、関西各地から万博会場への来訪を促すような展示を展開し、関西各地へのゲートウェイとなることをめざします。

##### ● 会場内外のイベントとの連携

パビリオン内の多目的エリアを活用した各地域の文化の発信、特産物の紹介、期間限定の技術体験展示などの会場内イベントを実施するとともに、関西各地での万博関連イベントとの連携など、万博会場だけにとどまらず、関西全体で万博のテーマを表現し、地域の活力を引き出し、イノベーションを創出する取組をめざします。



## 2. 全体概要

### (5) 出展参加の主体・府県、関係機関等との連携

関西パビリオンは、関西2府6県4市で構成する関西広域連合が主体となって出展しており、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県が参加するとともに、関西広域連合の連携団体である福井県及び三重県も参加します。

また、関西パビリオンは大阪パビリオンと隣接しており、一体的な大阪・関西エリアを形成しています。オール関西で、その魅力を内外に発信していくために、屋外スペースの共用や情報発信などにより協力・連携を図っていきます。

さらに、経済団体や企業、大学等との産学官連携や府県市民の参加など、多様な主体が万博に参画できる仕組みづくりをめざします。

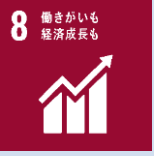







# 2. 全体概要

## (6) SDGsの取組

「いのち輝く未来社会のデザイン」という大阪・関西万博の開催テーマには、国連が掲げる2030年の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にとどまらず、+beyond（2030年より先）への飛躍の機会となる期待が込められています。関西パビリオンにおいても、SDGsの達成、さらにその先の持続可能な社会の実現に向け取り組んでいきます。

### 【関西パビリオンで特に取り組むゴール】

取組	ゴール	
関西全域に波及効果をもたらす地域活性化につながる取組	ゴール8 「働きがいも経済成長も」	
	ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」	
ユニバーサルデザインに基づく空間設計によるインクルーシブな社会の実現	ゴール10 「人や国の不平等をなくそう」	
3Rやプラスチックごみ対策を通じた環境配慮	ゴール12 「つくる責任つかう責任」	
	ゴール14 「海の豊かさを守ろう」	
参加府県や関係団体との連携・協働による目標達成	ゴール17 「パートナーシップで目標を達成しよう」	

# 3. 建築計画

## (1) 建物の特徴及びイメージ図

### 【建物のコンセプト】

笑顔あふれる輝く未来へ、いつも楽しい、にぎわいのパビリオン

### 【特徴】

- ① 灯籠をイメージした六角形のパビリオン
- ② 最高12mの高さを活かした展示
- ③ 膜をスクリーンとしたプロジェクションマッピング
- ④ いにしえより受け継がれてきた切り絵で“関西”を表現
- ⑤ 多目的エリアでのイベント開催
- ⑥ 軽量素材・省資源化による環境負荷及びコストの低減



注) 建築計画は、外観や内部レイアウトを含め、今後具体化していく中で変更することがあります。

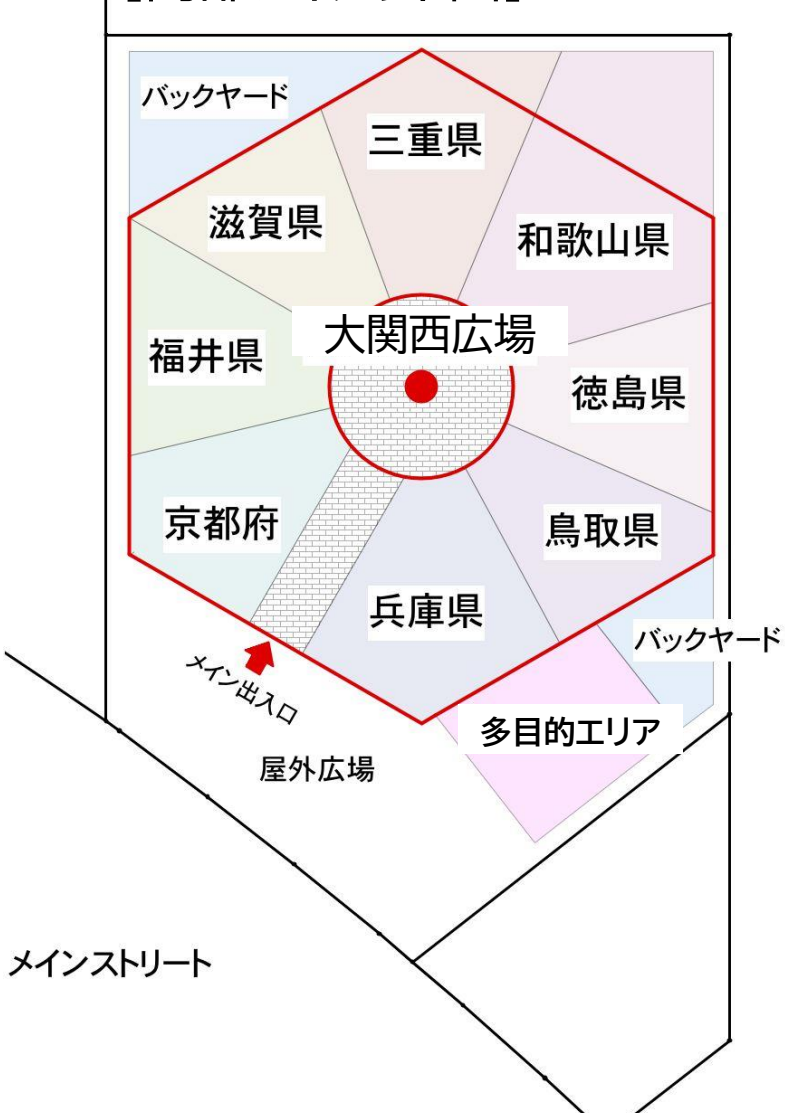
# 3. 建築計画

## (2) 内部レイアウト

### 【内部レイアウトの考え方】

- 関西パビリオンに参加する府県は、大阪・関西万博の開催地を中心として取り囲むように立地。
- その参加府県の地理や隣接関係を来館者が自然と感じとれるように、展示エリア内の並びを地理的配置で表現。
- また中心で関西全体を表現する展示を展開することで関西を一体的にアピールする。

### 【内部レイアウト図】



来館者は、メイン出入口から中央の大関西広場に入り、そこから訪れたい府県ゾーンに引き込まれるレイアウトとする

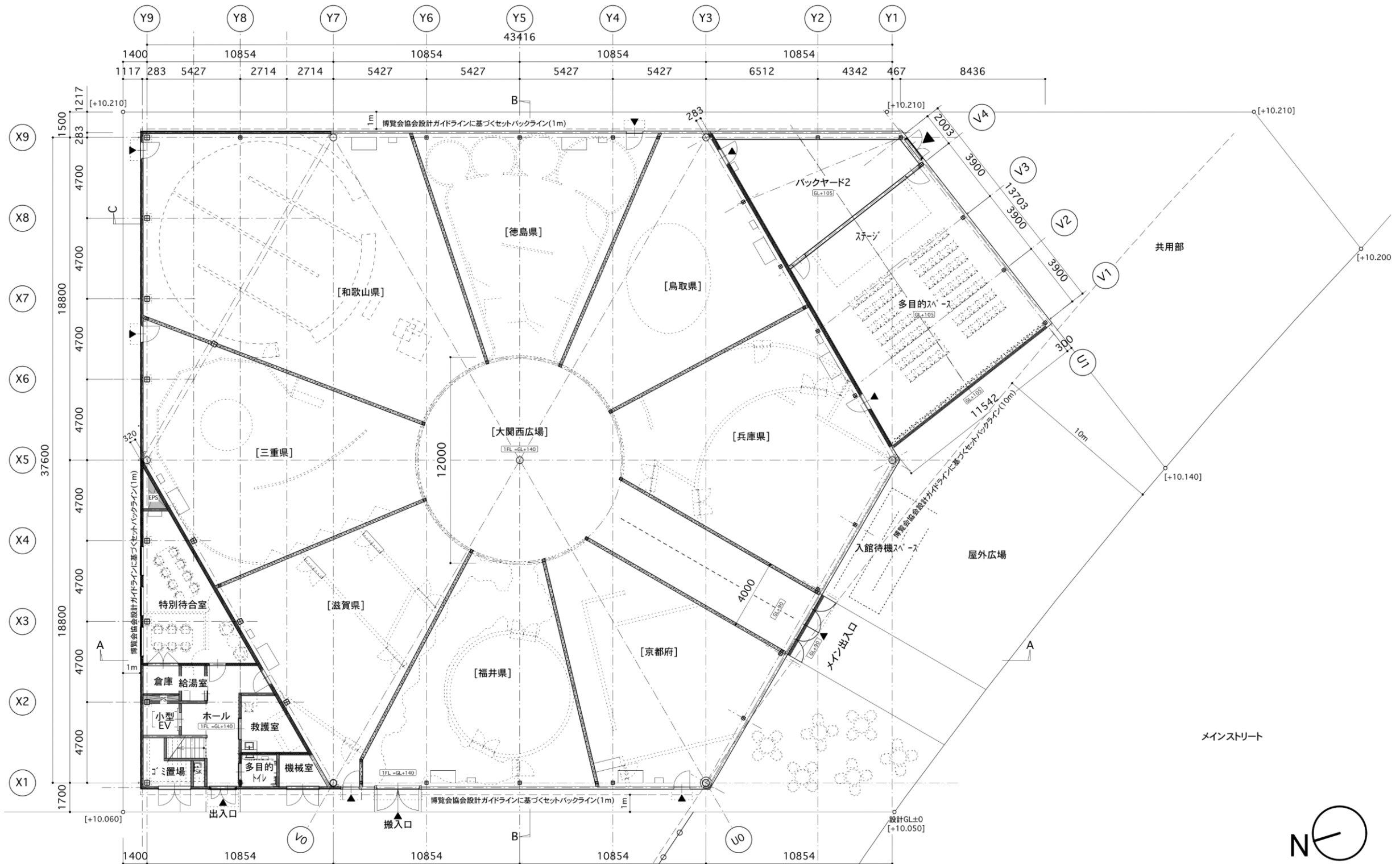
### 【建物及び各エリア・ゾーンの規模】

敷地面積：2453.01m<sup>2</sup>  
 建築面積：1653.43m<sup>2</sup>（建ぺい率：67.41%）  
 延床面積：1874.43m<sup>2</sup>

エリア	ゾーン	延床面積
展示エリア	大関西広場	166m <sup>2</sup>
	京都府ゾーン	126m <sup>2</sup>
	福井県ゾーン	126m <sup>2</sup>
	滋賀県ゾーン	126m <sup>2</sup>
	三重県ゾーン	160m <sup>2</sup>
	和歌山県ゾーン	251m <sup>2</sup>
	徳島県ゾーン	126m <sup>2</sup>
	鳥取県ゾーン	126m <sup>2</sup>
	兵庫県ゾーン	160m <sup>2</sup>
多目的エリア		130m <sup>2</sup>
バックヤード		377m <sup>2</sup>
合計		1,874m <sup>2</sup>

# 3. 建築計画

## (3) 平面図



※各府県展示スペースの水冷床置空調と分電盤の位置は仮想定

※平面図は現時点のものであり、今後展示計画等の具体化を図っていく中で変更することがあります。

# 4. 展示計画

## (1) 基本的な考え方

関西パビリオンの展示は、①関西全体を表現する展示エリア、②出展参加府県による独自展示エリア、③WEBパビリオンで展開し、関西広域連合及び参加府県が創意工夫を凝らし魅力ある関西を表現し、関西各地への来訪を促進します。

### ① 関西全体を表現する展示エリア

関西全体を表現する展示エリア（大関西広場）は、関西パビリオンのエントランスとして、「関西と関西各府県の歴史と文化の魅力」を主眼に置いた展示を展開し、関西の魅力を一体的に表現します。

### ② 出展参加府県による独自展示エリア

出展参加府県による独自展示エリア（府県ゾーン）は、それぞれの府県が来館者に訴求したいポイントに沿った趣向を凝らした展示を展開します。

府県ゾーンは大関西広場の周りに放射状に配置し、来館者が訪れたい府県ゾーンに自由にアクセスできる動線とすることにより、それぞれの府県が展示を高め合い、来館者を誘導します。

※奈良県は府県ゾーンは有しませんが、大関西広場や多目的エリア、WEBパビリオンなどの中で奈良県の魅力を発信していきます。

### ③ WEBパビリオン

WEBパビリオンは、会場に来ることができない人も関西パビリオンを体感できるよう、WEB上でも関西の魅力を発信していきます。リアルのパビリオンとの連動やWEB独自のコンテンツ、周遊観光など地域への来訪を促進する機能を付加するなど、WEBの特性を活かし、発信していきます。

また、大阪・関西万博の開幕に先駆けてオープンすることにより機運醸成を図るとともに、関西パビリオン、ひいては大阪・関西万博への来場を促進し、万博の成功につなげていきます。

※本項で示す展示計画は現時点のものであり、今後具体化を図っていく中で変更することがあります。

# 4. 展示計画

## (2) 大関西広場の展示計画

テーマ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在

### ■ 展示概要

- 関西と関西各府県の歴史と文化の魅力を発信
- 関西の魅力を一体的に表現

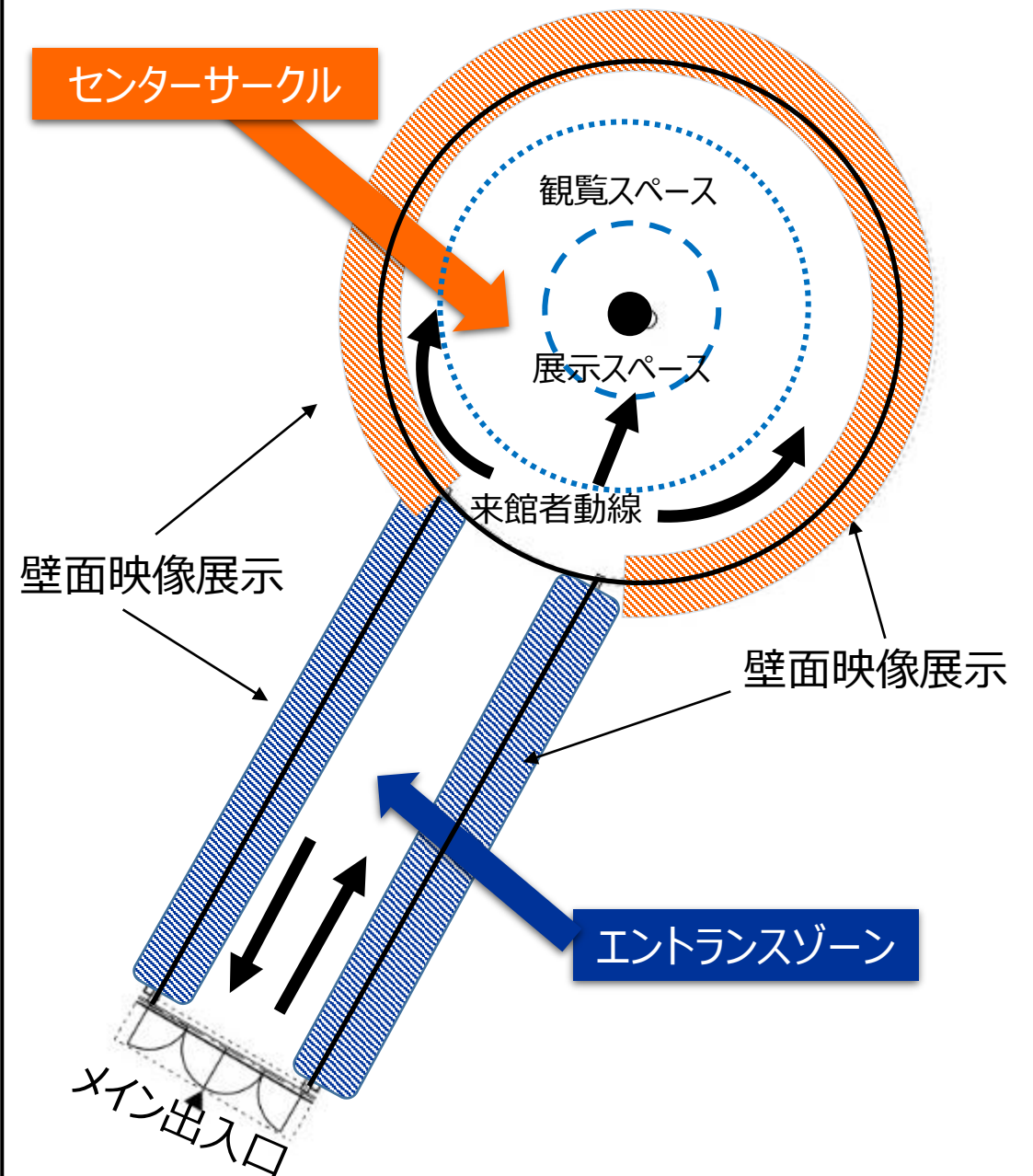
### ■ ゾーニング

- エントランスゾーン
- センターサークル

### ■ 展示内容

- 関西全体を紹介する映像展示
- 府県市民参加型コンテンツ
- WEBパビリオンと連動した演出  
(会場外からの展示コンテンツへのアクセス、周遊観光案内等)
- 70年万博からの継承

### ■ 展示レイアウト (全体)



# 4. 展示計画

## (2) 大関西広場の展示計画

### ■ エントランスゾーン

メイン出入口からセンターサークルまでのエントランスゾーンでは、「関西 (Kansai) 」とは、の導入部分を映像等で表現し、府県ゾーンで展開されるコアな魅力への興味を引き出します。

#### ○ 展示方法

府県ゾーンとエントランスゾーンを区切る左右の壁面やセンターサークルまで通じる床面など、限られた空間をフルに活かし、映像や通信技術による展示を行います。

#### ○ コンテンツ

主動線を兼ねる空間となることも考慮し、分かりやすくシンプルなコンテンツとしつつ、非日常に引き込むインパクトのあるコンテンツをめざします。

#### ○ 展示イメージ



### ■ センターサークル

センターサークルは、関西パビリオンの象徴的な空間とし、関西を一体のものとして感じていただく展示を行います。

#### ○ 展示方法

各府県ゾーンへの入口上部の円形の壁面を活用し、大画面での映像展示を行います。また、府県ゾーンへの動線を確保しつつ、リアルのパビリオンならではの展示物を配置し、来館者に訴求します。

#### ○ コンテンツ

WEBパビリオンと連動したコンテンツや演出、府県市民からのアイデアによる映像展示など、より多くのステークホルダーを巻き込んだコンテンツをめざします。

#### ○ 展示イメージ





# 4. 展示計画

## (3) 滋賀県ゾーンの展示計画①

### 出展参加のテーマ：Mother Lake ～びわ湖とともに脈々と～

#### テーマに込めた想い

滋賀の人々は、はるか昔から、琵琶湖のそばで、  
琵琶湖を活かし、琵琶湖を守り、  
さまざまな知恵や工夫を用いながら共生してきました。  
そしてこれからも、新しい技術を生み出し、取り入れながら、  
持続可能な生活を、築いていきます。  
そんな独自のいとなみに、あなたも触れてみませんか。  
そして、新しい未来を創造してみませんか。  
出展参加のテーマには、このような想いを込めました。



#### 展示基本方針

「Mother Lake ～びわ湖とともに脈々と～」を体験する

#### Mother Lake アドベンチャー

大阪・関西万博は、万博として初めて四方を海に囲まれた会場で開催されます。琵琶湖の水はこの大阪湾に注いでおり、会場と琵琶湖は、水を通じてつながっています。

この母なる湖、琵琶湖の魅力を自然・文化・歴史の視点で紹介し、その魅力を探求・発見していく展示体験を計画します。

また、来館者に対し、いのちをつなぐ水と自然の尊さ、悠久の歴史に培われた人々のいとなみ、そして現代に暮らす私たちが直面する環境問題と、その解決に向けての視座を提示します。

なお、展示に当たっては、特に以下の視点を大切にします。

誰もが楽しめる  
ユニバーサル  
デザイン

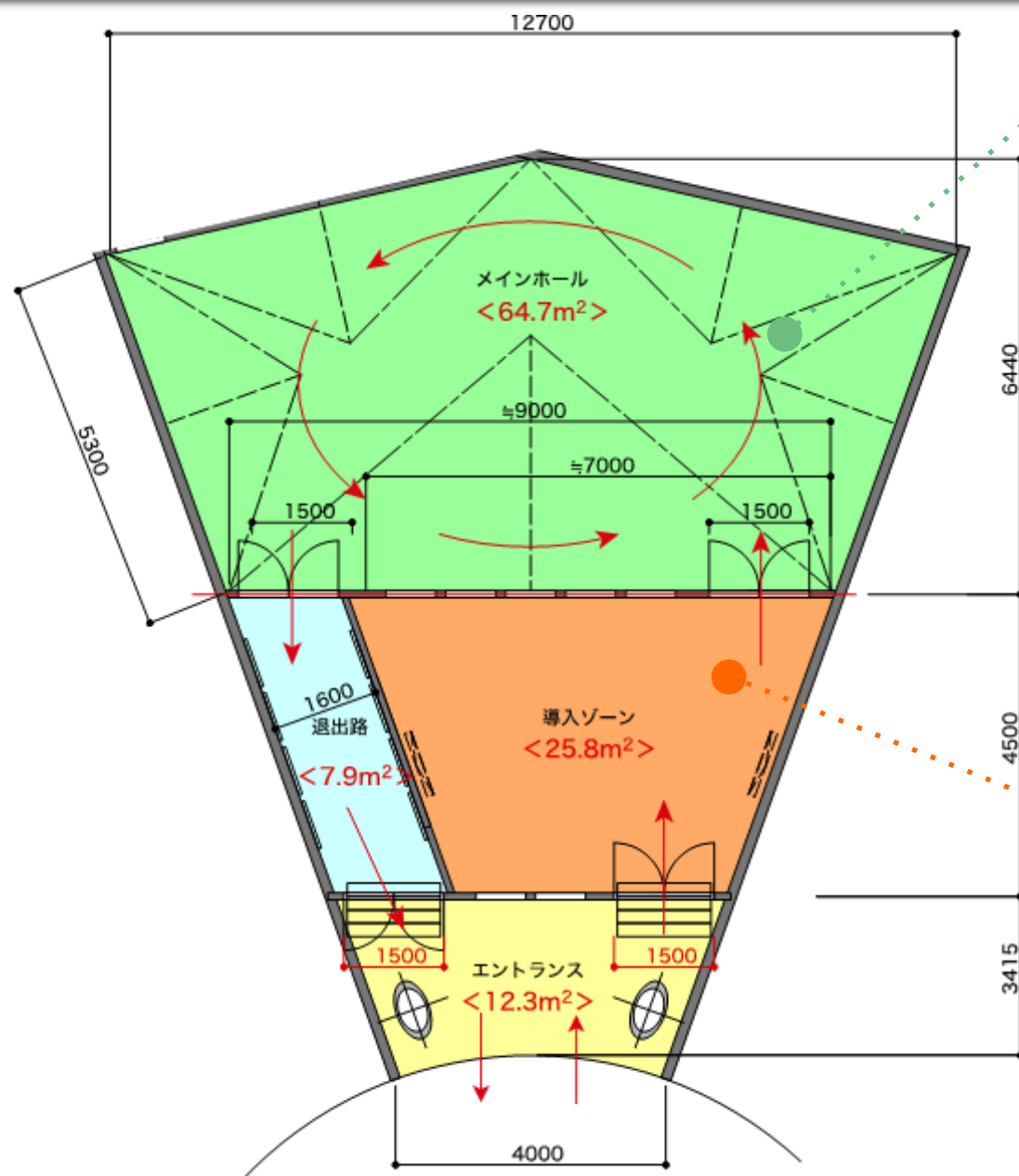
子どもたちが  
ワクワクできる  
体験

来館者の  
記憶に残る  
ダイナミックな  
演出

# 4. 展示計画

## (3) 滋賀県ゾーンの展示計画②

### 展示レイアウトおよびコンテンツ



滋賀の魅力に会う  
「滋賀まるごと体感映像」!!

### ②メインホール 「滋賀フィールド体験」

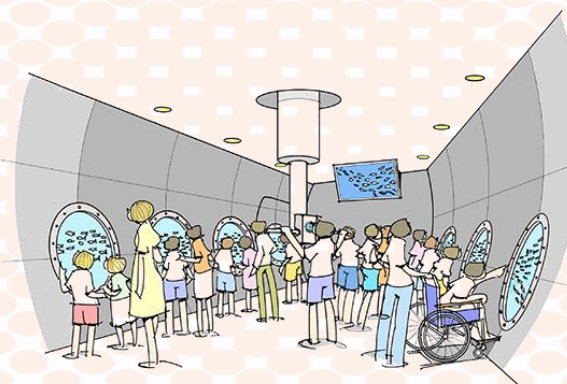
滋賀の魅力を見つけ出し、  
自分だけの「滋賀コレクション」を完成!



- パノラマ映像から滋賀の生きもの、歴史、文化等を発見
- カメラ型デバイスで撮影すると解説情報を表示
- スマホ等に保存して持ち帰り、県内で実物を体感

### ①導入ゾーン 「潜水艇水中体験」

琵琶湖の水中探索から始まる導入演出



- 琵琶湖が生まれた400万年前から現在へ
- 滋賀で培われてきた自然や文化等を紹介

# 4. 展示計画

## (4) 京都府ゾーンの展示計画

※展示計画は現時点の案であり、今後具体化を図っていく中で変更することがあります。

### <全体テーマ>

一緒につくろう、京都の未来 ～伝統と革新で拓く～

Come Together , Create the Future

～ Leading with Tradition and Innovation ～

※京都府ゾーンに限らず、府域での取組も含めた全体テーマ

### 万博会場の位置付け

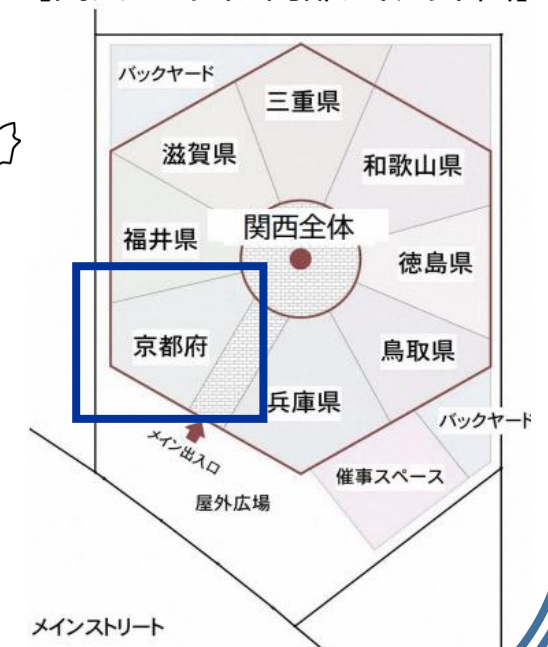
万博会場において、京都の文化や京都産業の強み、観光資源等をアピールし、京都府域内の各地へ人を呼び込む「ゲートウェイ」として位置付け。

### 京都府ゾーンの展示のあり方

- 未来の京都を担う若い世代を中心に、府民や府内企業等の活力や想像力を最大限活用するとともに、「人」や「人のつながり」を未来に残すため、令和5年度に設置予定の「大阪・関西万博きょうと推進委員会（仮称）」の若手部会（仮称）が中心となり企画。公募等を含め幅広く出展・運営方法を検討する。
- 大阪・関西万博きょうと基本構想（策定中）の「万博を通じて京都が目指すもの」や「全体テーマ」と軌を一にし、「文化・環境」、「産業」、「観光」、「地域」の4つをテーマとして、一定期間での入替も視野に入れた企画などを想定。



【関西パビリオン内部レイアウト図】



# 4. 展示計画

## (5) 兵庫県ゾーンの展示計画

### HYOGO ミライバス - 体験型の全天周SDGs空間 -

時空を超えた旅で兵庫県の魅力を体感する  
アトラクション型映像空間

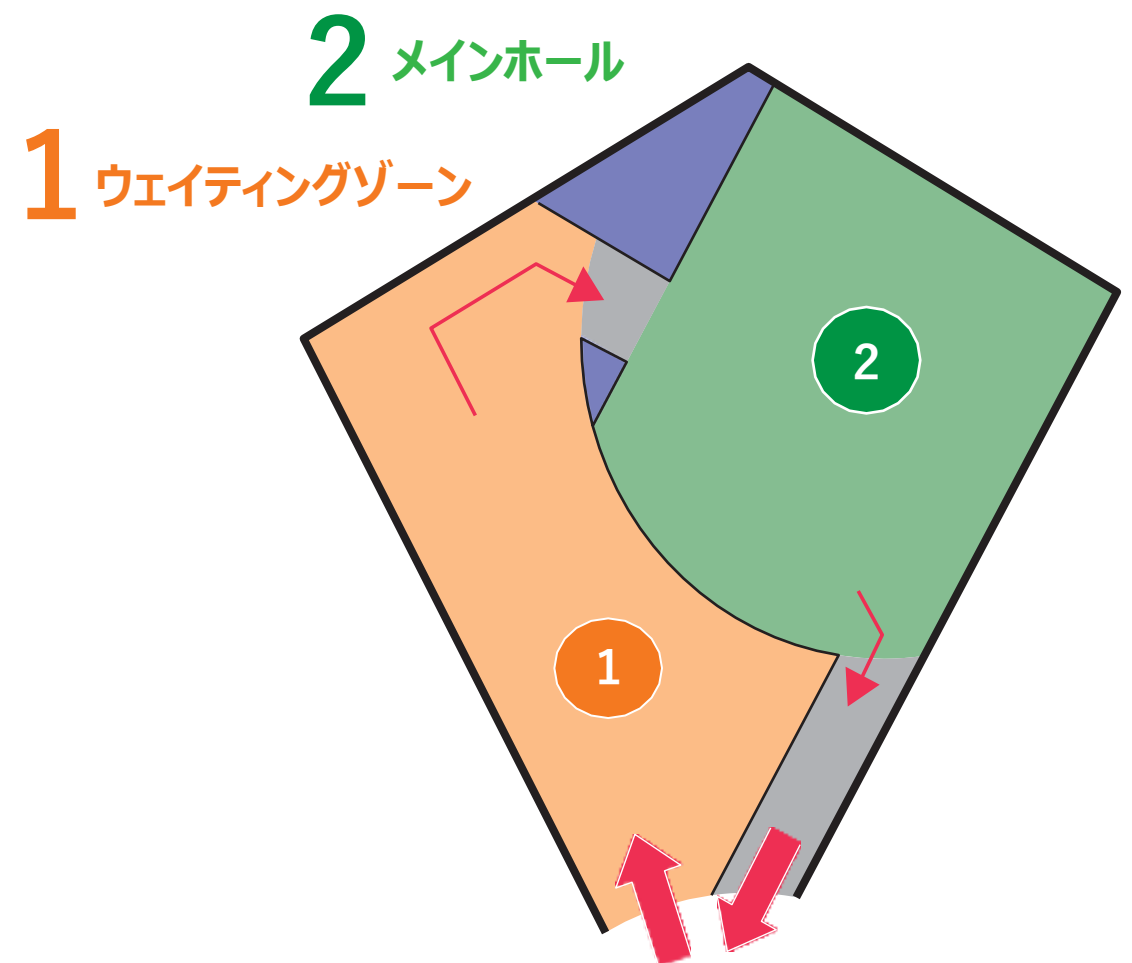
【兵庫県ゾーン 展示レイアウト】

#### ① 展示構成

- ◆ ウェイティングゾーンでは、兵庫県の多彩な魅力をトンネル状に配置したグラフィックで表現。時空の狭間に入り込んだような空間で、ワクワク感や期待感を醸成。
- ◆ メインホールでは、バスガイドのおもてなしによる時空を超えた全天周バスツアーで、来館者に兵庫県の魅力を強く印象づける。

#### ② ゾーニング

- ◆ ウェイティングゾーン  
一度に70~90人の来場者を入場させ、メインホールへスムーズに移動させる役割を担う。
- ◆ メインホール  
着座式の大型シアター空間。映像体験終了後は、退出路からの退場と入場案内を同時に行う。

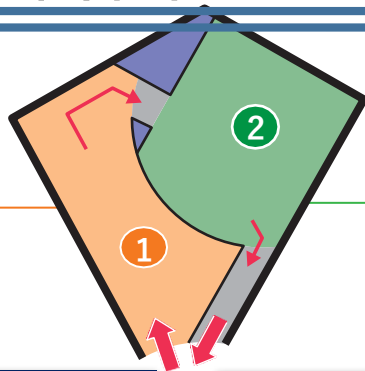


# 4. 展示計画

## (5) 兵庫県ゾーンの展示計画

### 1 ウェイティングゾーン ～兵庫四次元の回廊～

メインホール入場前の待合空間



### 2 メインホール ～ミライバス～

兵庫をめぐるアトラクション型映像を体験できる大型シアター空間

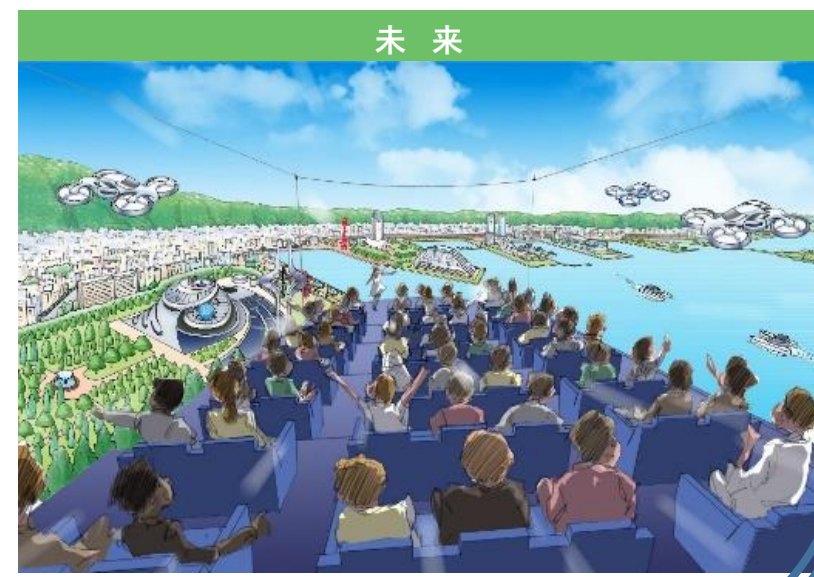
(最大90名程度が収容可能)

#### ① 兵庫に出会い、兵庫を感じる多彩な展示

- ◆ 場所・時代・ジャンルを問わない兵庫の多彩な資源を、写真やイラストで展示。
- ◆ 「暗い曲線形状の空間」と「明るい壁面・天井面パネル」との対比で、**四次元の回廊を表現**。
- ◆ **思わず兵庫棟に入りたくなる**ような、ワクワク感あふれる空間を演出。

#### ② バスガイドのおもてなしによる時空を超えた全天周バスツアー

- ◆ **過去から未来の時空を超えた旅**をお届けする“ミライバス”に乗って、ひょうごフィールドパビリオンや兵庫を代表する観光名所、医療・産業等の最先端技術など、兵庫の多彩な魅力を発信。
- ◆ **シアター形式**（階段状の着席型）で、**全天周(正面・左右・天井)**スクリーンを採用。体感音響装置を設置し、**バスの揺れを再現**するなどのアトラクション要素あり。
- ◆ **バスガイドの案内**にあわせ左右に視点を切り替えながら陸・海・空を自在に走る、圧倒的な臨場感を味わえる空間を演出。
- ◆ シアター形式の会場特性を生かし、フィールドパビリオンプレイヤーとのトークセッションが展開可能。



# 4. 展示計画

## (6) 和歌山県ゾーンの展示計画

### テーマ

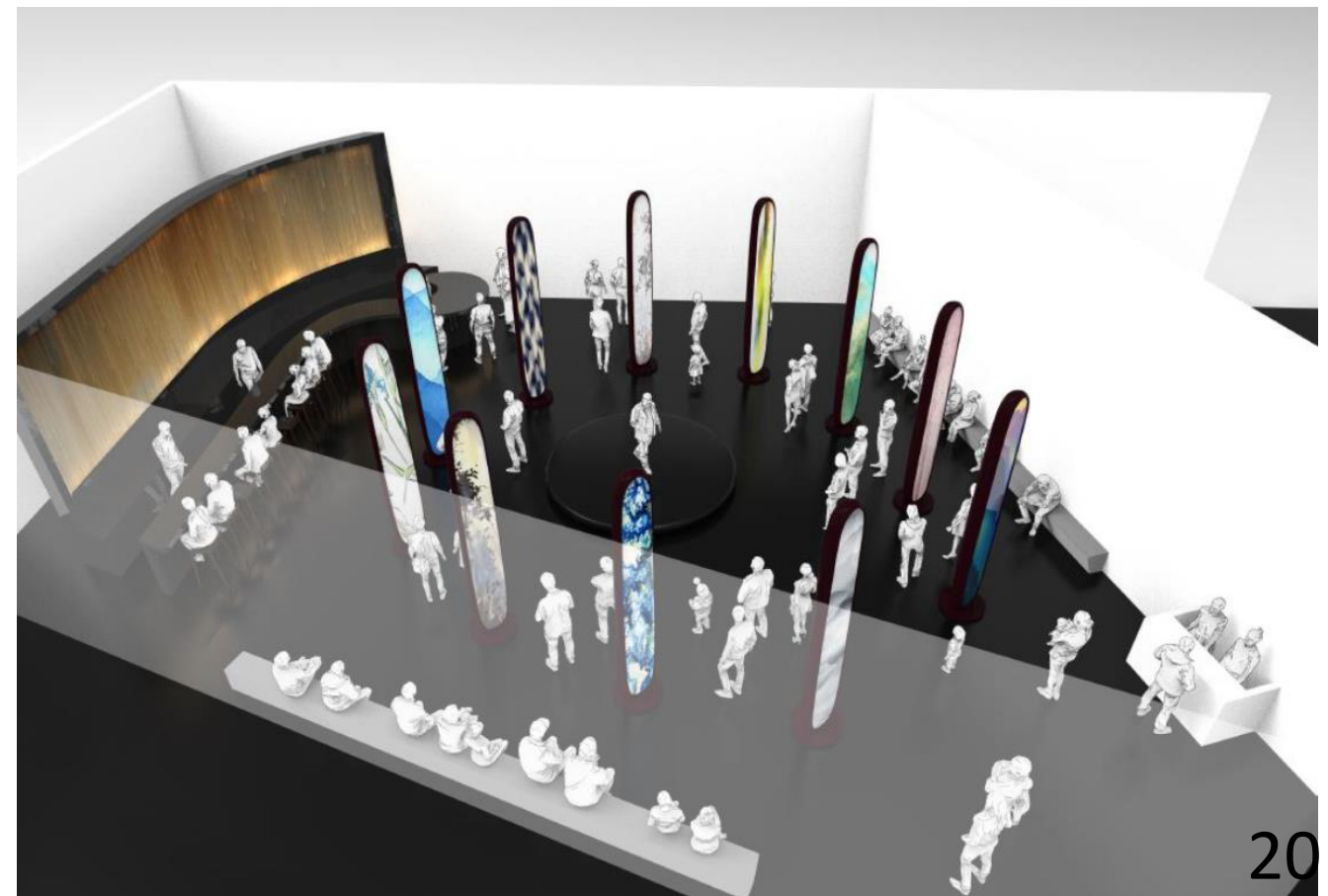
## 和歌山百景 — 霊性の大地 —

### 出展の意義

- 和歌山県の紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な場所とされ、寛容の精神を以て、宗教や身分、考え方の違いに関わらず、全てを受け入れ、融合・共存させてきました。
- その精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとなり得ると考え、これを展示によって表現します。

### 展示の構成

- 和歌山に根付く精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「和歌山百景」として表現します。
- 紀伊山地の巨木も彷彿とさせる、そびえ立つ映像のタワー「トーテム」を環状に配置した空間構成で、神聖な空間を演出します。
- 中央ステージでは「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンスを発信します。
- 飲食可能なエリアとしてカウンターバーを設置し、豊かな和歌山の食の魅力も届けます。



# 4. 展示計画

## (6) 和歌山県ゾーンの展示計画



### 映像タワー「トーテム」

和歌山各地の美しい自然風景や神話と歴史に因んだシーンなど「和歌山百景」をアートとして表現し、映像化していきます。

アートの映像は、写実とはまた違った魅力で想像を促し、深淵に和歌山の魅力を伝えます。



### ステージ

中央に配置したステージでは、和歌山の今を生きる人たちが、トーテムの映像と連携しながらパフォーマンスを行います。

和歌山の伝統芸能や県内産業の魅力を、それを実践する「人」を通して発信します。



### カウンターバー

落ち着いた空間を演出し、視覚からも和歌山の食を楽しんでもらえるように、工夫を凝らしたディスプレイを設置します。

美味しいだけでなく、芸術的な演出を含め感動してもらえる食を提供します。

# 4. 展示計画

## (7) 鳥取県ゾーンの展示計画

### 【展示コンセプト】 鳥取魅力名探偵！～誰もが楽しめる記憶に残る体験～

#### 鳥取県ゾーンの基本的な考え方

○世界的にアピールできる鳥取県独自の魅力である「まんが」「自然」「食」などの観光資源を活用し世界に向けてPR

#### 展示レイアウト及び展示コンテンツ

##### 【プレショー】

- 「まんが王国とっとり」を世界にPR！
- ・「ゲゲゲの鬼太郎」の水木しげる先生、「遥かな町へ」「父の暦」の谷口ジロー先生、「名探偵コナン」の青山剛昌先生をはじめとする作者の魅力、作品の魅力をPR
- ・鳥取県内のゆかりの施設・場所への観光誘致につなげる

##### 【メインショー】

鳥取県の魅力的な自然、食、文化など壁面を鏡張りにした「無限砂丘」で体験・発見！

- ・六角形の空間に鳥取砂丘の砂を敷き詰め、側面に鏡面素材を貼り、万華鏡空間を演出
- ・映像演出、虫メガネ型デバイスを使い、砂に散らばった鳥取県の魅力を発見！



虫メガネ型デバイスを砂丘にかざすと知らなかった鳥取県の歴史・文化・食などが発見できます！





# 4. 展示計画

## (8) 徳島県ゾーンの展示計画

### コンセプト

万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」～ 県民が参画し、県民が創る万博 ～

### 会場展示のテーマ

## GATEWAY

～ to Tokushima, to Sustainable Future ～

### 基本的な考え方

万博会場において「人・モノ・コト・情報」の流れを迎え入れる徳島への「ゲートウェイ機能」を発揮し、多様な知恵や技能が集い循環する持続可能な徳島をめぐる旅

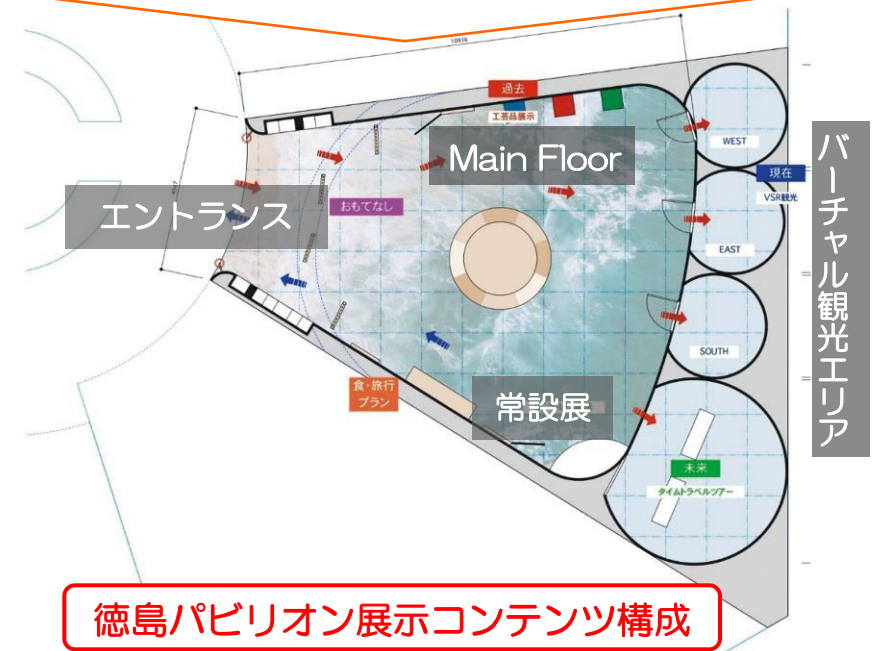
「S (Sustainable)-TRIP」の紹介を地域・時間軸で展開

### コンテンツ

- (1) いのち・働き・にぎわいを創造！未来技術のショーケース
- (2) 地球に優しいSDGsライフスタイル
- (3) リアル×バーチャル×未来技術によるシナジー展開

### 展示の体験構成

「S-TRIP」を体験コンセプトに、徳島が育んできた伝統から今（リアルタイム）、そして、「人・モノ・コト・情報」が循環することで実現させていく「サステナブルな未来」を表現



### エントランス



- **ホログラムによるコンセプトワード**
  - ・会場展示のテーマ「GATEWAY ～to Tokushima, to sustainable future」をホログラムで展開
- **GATEWAYを連想させるドア型モニター**
  - ・来場者がGATEWAYを想起させる扉を開くことで、透過モニターを通して、阿波おどりや四国遍路の「お接待」に象徴される「おもてなし文化」を体感していただくゾーンとして展開
- **地域コンテンツ展示**
  - ・両サイドの壁にビジョンを設置し、工芸品、名産品等の地域コンテンツのPR映像を放映

# 4. 展示計画

## (8) 徳島県ゾーンの展示計画

### Main Floor

エントランスを抜けると、コンセプトである「S-TRIP」を時系列でコンテンツ展開  
来場者に、徳島の過去（伝統・歴史）→現在→未来を体感



#### ▶ 遊山箱型情報ステーション

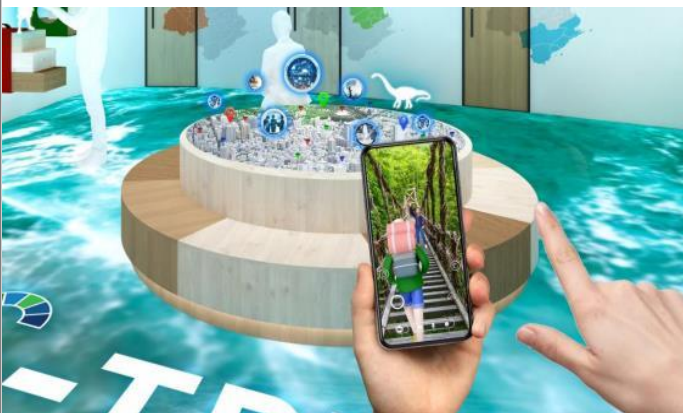
遊山箱の中において、ARの設置やNFTの取得など、来場者自身のデバイスにより「伝統文化」を体感できる情報ステーション

#### ▶ 徳島伝統文化職人紹介用

自然、伝統を守る人を等身大でコンタクト出来るコーナーを設置

#### ▶ メタバース活用による市町村等の地域の企画展示

来場者が自身のデバイスを活用し、メタバース空間上の「徳島デジタルツイン」やARにより、市町村をはじめ地域コンテンツを体感



#### ▶ 「Beyond 5G」の最先端技術を紹介

次世代「光」や8Kを活用した遠隔医療など、徳島で先駆的に取り組む技術を展示

#### ▶ 徳島名産食材おもてなしコンテンツ

徳島パビリオンのお土産として、地域の暮らしに裏付けされた旬の農作物等のお接待スペースを設置し、フードツーリズムと連携

#### ▶ 徳島誘客タッチパネル

最後は、徳島パビリオンを疑似体験した後に、徳島県ツアーが可能なコーナーを設置。  
AI案内の設置など、GATEWAYであるパビリオンを体感いただいた来場者が、実際の徳島の旅をその場で設計



### バーチャル観光エリア (徳島の「今」体験)

#### ▶ VSR (仮想超解像度) 観光

【現在】

県内を「東部」「南部」「西部」の3エリアに分け、世界初リアルタイムVSRを活用し、徳島の「今」を体感できる没入型バーチャル観光を展開（阿波おどり、山犬嶽、かずら橋、渦潮など）



「リアルタイムVSR (Virtual Super Resolution)」

・超解像度の映像、AI技術、高速通信を組み合わせ、離れた空間を「リアルタイム」で「まるごと」再現し、まるで自分がその空間に実際に立っているかのように感じることができる、世界初の技術。

### 常設展

(徳島の「過去・現在・未来」体験)

#### ▶ 360° 8Kシアター (タイムトラベルツアー)

【過去・現在・未来】

1950年から2025年、SDGs達成目標の2030年を経て、カーボンニュートラルの目標2050年まで、過去から現在、未来技術が活用される徳島の「未来の姿」までをパノラマで紹介。

→通信の未来 (pLED・次世代「光」)、  
農業(食)の未来 (コオロギ食、スマート農林水産業)、  
いのちの未来 (遠隔医療) などを映像化

→メインフロアではリアル体験



# 4. 展示計画

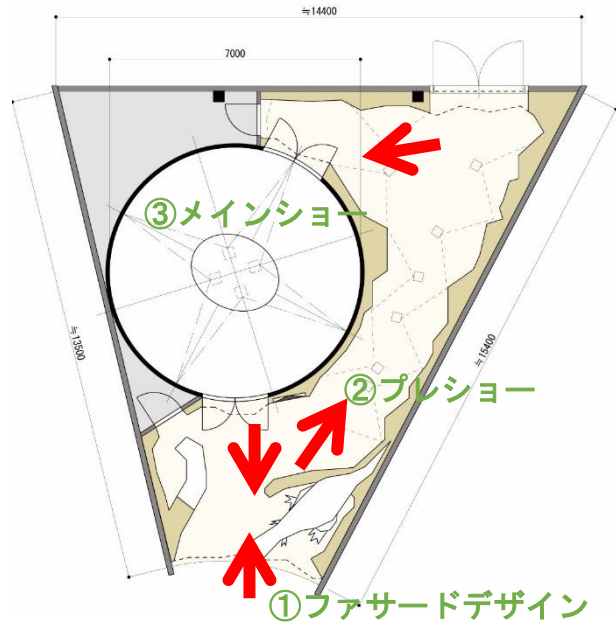
## (9) 福井県ゾーンの展示計画

### 概要

- ・関西パビリオン内の福井県独自展示スペースについてはインパクトがあり、記憶に残るよう他府県にはない地域資源である「恐竜」を活用した展示とし、恐竜を体験した人が実際に福井県内の恐竜博物館やその他観光地を訪れる流れを作る。

展示内容：展示デバイスを用いた探索展示を通じて「恐竜王国福井」を訴求するストーリーを構築

- ・福井県の魅力を深掘していく時空を超えたレイヤー探検として、「恐竜王国福井」を体感できる体験型展示



### ①ファサードデザイン

地層から現れた恐竜が期待感を演出



※画像は構想段階のもの

### ②プレショー

現在から白亜紀まで時間を遡りながら福井の歴史・文化を発見する検索体験



※画像は構想段階のもの

白亜紀に至るまで、福井の地中に眠る歴史的遺構や化石を発見する展示体験。展示デバイスを壁面に向けると、それぞれの解説情報が現れる等来場者の興味・関心を高める手法を検討。発見したコンテンツはデバイスに情報が記憶され、蓄積されていく仕組みを計画

### ③メインショーイメージ図

恐竜の繁栄と絶滅から未来を見つめる全周型映像空間



※画像は構想段階のもの

白亜紀から現代、そして未来の福井を体感するシアター空間を検討。来場者が持つ展示デバイスと連動して、映像の中の恐竜が反応する等、話題創出につながる仕組みを計画。また、未来に向けた福井県版SDGsの取り組みを発信し、展示体験を通じて環境や未来を考えるきっかけを提供

# 4. 展示計画

## (10) 三重県ゾーンの展示計画

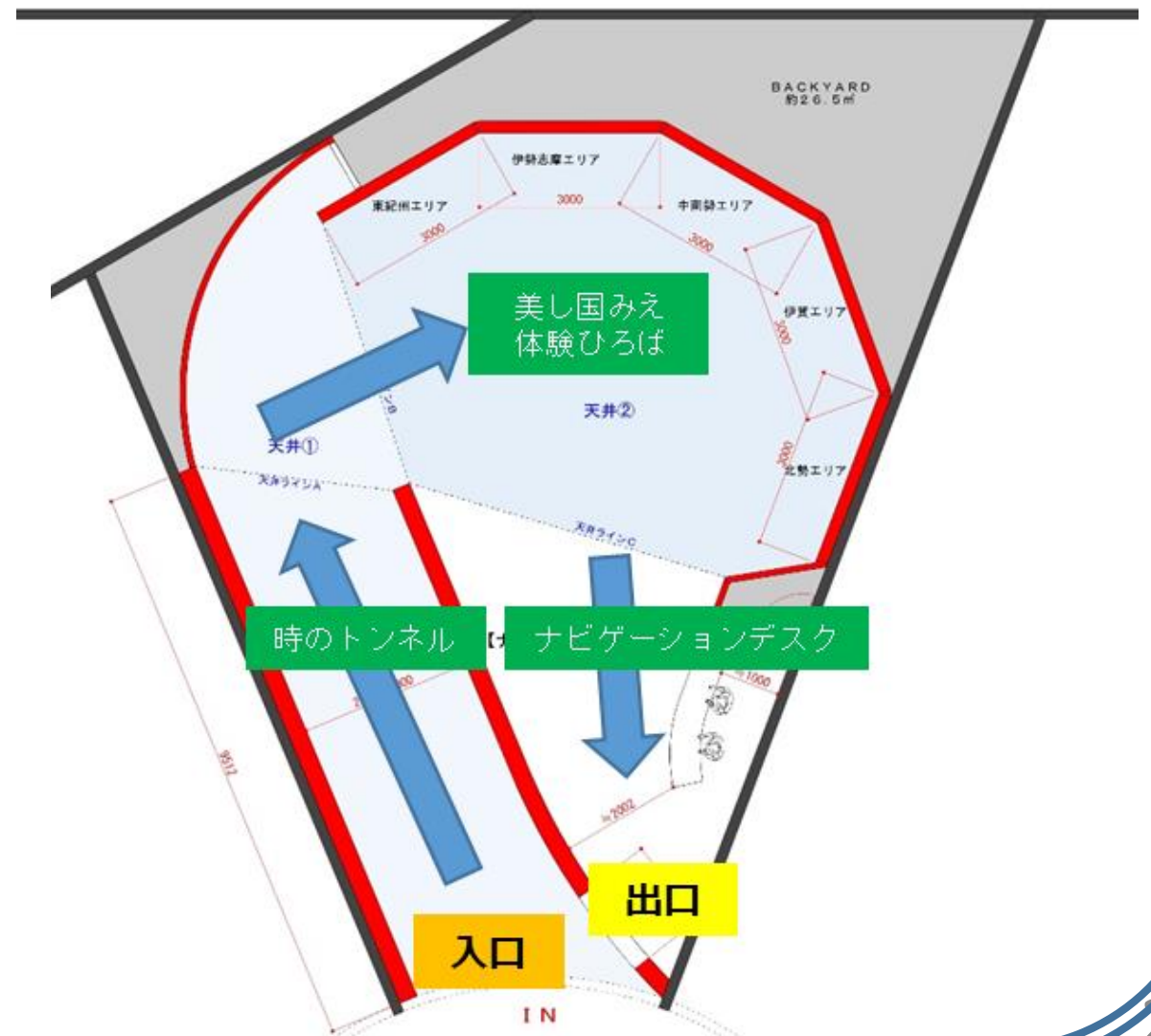
### 日本のこころの原点～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

伊勢神宮や熊野古道伊勢路など、千年以上も紡がれてきた三重の歴史・文化は、いわゆる「日本のこころの原点」であると言えます。

過去から現代、そして未来へとつづく「日本のこころの原点」の物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で体感・体験していただきます。

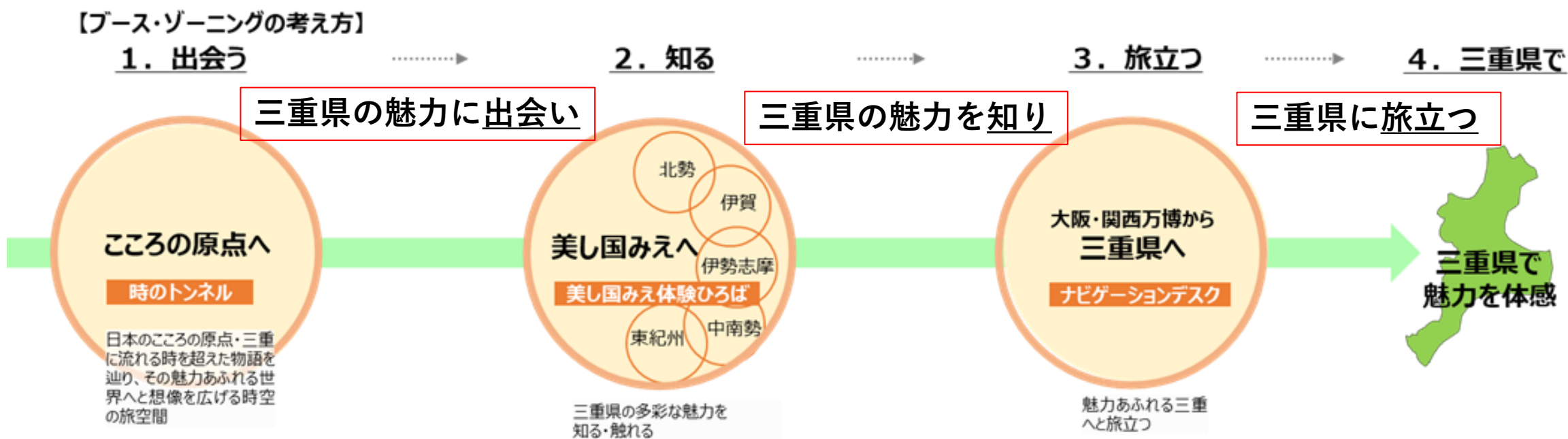
#### ● 展示の基本方針

風光明媚なリアス式海岸や伊勢海老、松阪牛に代表される食などの三重県が世界に誇るオンリーワンの魅力と出会い、体験や映像などを通じて、三重県の多様な魅力を知り、万博会場から実際の三重へと旅立つストーリーでブースを構成します。



# 4. 展示計画

## (10) 三重県ゾーンの展示計画



### ① 時のトンネル



万博会場に居ながら「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開

### ② 美し国みえ体験ひろば



県内5つのエリア別の観光紹介とともに、「三重県ならではの体験コンテンツ」を発信県内市町、団体等と連携した「オール三重」で魅力発信

### ③ ナビゲーションデスク



コンシェルジュを配置し、来場者の多様なニーズにお応えするとともに、三重県への来訪のきっかけとなる取組を実施

# 4. 展示計画

## (11) WEBパビリオンの展示計画

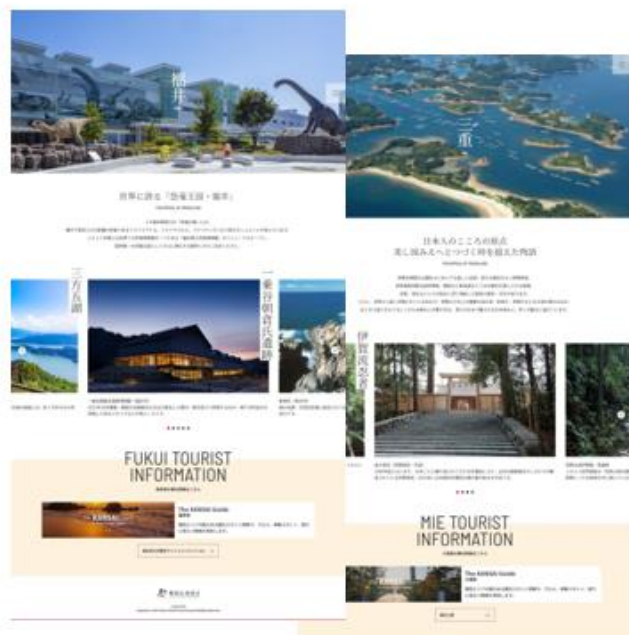
【WEBパビリオンプレサイト】 ★オリジナルコンテンツ (TIME TRIP)

大阪・関西万博への関心をもっといただき  
きっかけを作るユーザー参加型の共創コンテンツ



★広域観光情報

関西各府県の観光情報と広域周遊ルートを紹介



機能追加・充実

★大阪・関西万博情報

新着情報ならびに関西各府県の万博に向けた取組の紹介



### WEBパビリオン本格運用 (案)

- ◆ 関西パビリオン情報の発信
  - ◆ パビリオン予約機能との連携
  - ◆ パビリオン混雑情報の把握・発信
  - ◆ 万博関連情報の発信強化
  - ◆ 観光情報の充実
  - ◆ 周遊ルート検索・案内機能の追加
  - ◆ オリジナルコンテンツの発展・充実
  - ◆ リアルのパビリオンとの連動
- など

# 5. 行・催事計画

## (1) 基本的な考え方

関西パビリオンのみならず、万博会場の催事場や府県域において関西の伝統ある芸能や祭り等の行事、食文化、特色ある地域文化・産業などの関西の魅力発信を幅広く展開していきます。

行・催事の展開に当たっては、民間企業や地域の団体、市町村等様々な主体と連携し、参加できるような仕組みを検討していきます。

### ① 関西パビリオン多目的エリア・屋外広場

関西パビリオン建物本体に隣接して設置する多目的エリアにおいて、祭りや関西企業による最新技術展示など様々な行・催事を、一定期間で入れ替え実施します。

また、隣接する大阪パビリオンと連携した活用など屋外広場の活用についても検討していきます。

### ② 万博会場の催事施設

万博会場では、屋外イベント広場や大催事場、メッセなど様々なタイプの催事施設が設置され、自治体としての参加も可能となっています。関西各府県や博覧会協会と調整・協議し、催事参加について検討を進めていきます。

### ③ 府県域を活用した取組

関西各府県では、府県域を活用した地域の魅力発信に取り組んでいます。関西パビリオンや万博会場での展示や行・催事にとどまらず、兵庫県で取組を進めている「ひょうごフィールドパビリオン」や徳島県の「とくしま『まるごとパビリオン』」などの府県域を活用した取組も含め、関西全体で万博を体感できる取組を実施していきます。

# 5. 行・催事計画

## (2) 関西パビリオン多目的エリア・屋外広場の行・催事計画

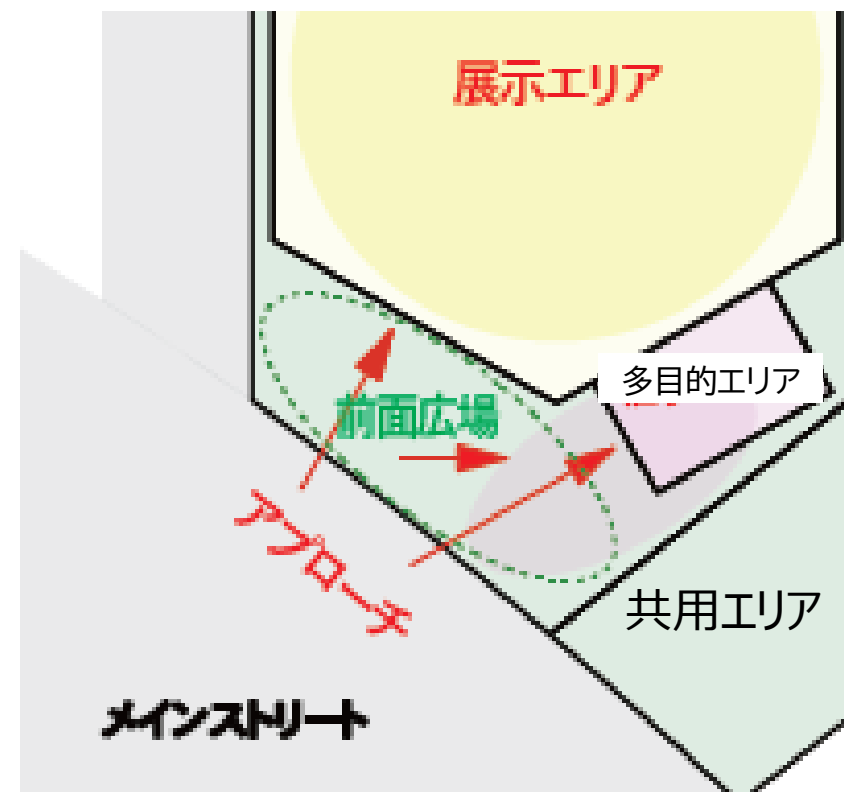
### 多目的エリア

- ◆ 多目的エリアは、参加府県や広域連合が一定期間（例えば1週間ごとなど）で入れ替わり、催事や展示等を行う、期間限定で楽しめる空間とします。
- ◆ 半屋内エリアとすることで、メインストリート（リング）や大阪パビリオンからの来訪者に関西の魅力をダイレクトに感じていただきます。
- ◆ 多目的エリアの利用イメージ
  - ・祭り
  - ・音楽ステージ
  - ・試飲・試食
  - ・物販
  - ・産業展示 など



### 屋外広場

- ◆ 屋外広場は、メインストリートから関西パビリオンへの入口までのアプローチとなる前面広場と、大阪パビリオンとの共用エリアから成ります。
- ◆ 前面広場は展示エリアに入る来訪者の滞留空間とし、共用エリアは、屋外イベントや試飲・試食スペースとするなど、パビリオン内にとどまらず、あらゆる空間を活用し魅力を発信します。
- ◆ 屋外広場の利用イメージ
  - ・入館待機列
  - ・来訪者滞留空間
  - ・情報発信
  - ・イベント
  - ・試飲・試食 など



大阪パビリオン敷地



# 5. 行・催事計画

## (3) 万博会場の催事施設における行・催事計画

大阪・関西万博では、開会式・閉会式、ナショナルデー等の公式行事、博覧会協会企画催事やシグネチャーイベントからなる主催者催事のほかに、自治体参加催事や出展者参加催事、一般参加催事等の参加催事が実施されます。

また、世界が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取組である「テーマウィーク」も開催されます。

関西広域連合及び構成府県市においても、自治体参加催事やテーマウィークにおいて、「その一歩が、未来を動かす。」という行催事コンセプトに沿った催事の実施について検討を進めます。

### 【催事会場】



催事施設 (いずれも仮称)	
1	大催事場
2	屋外イベント広場
3	ギャラリー
4	日本伝統文化エリア [屋外小舞台]
5	日本伝統文化エリア [展示場]
6	メッセ

# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ①滋賀県

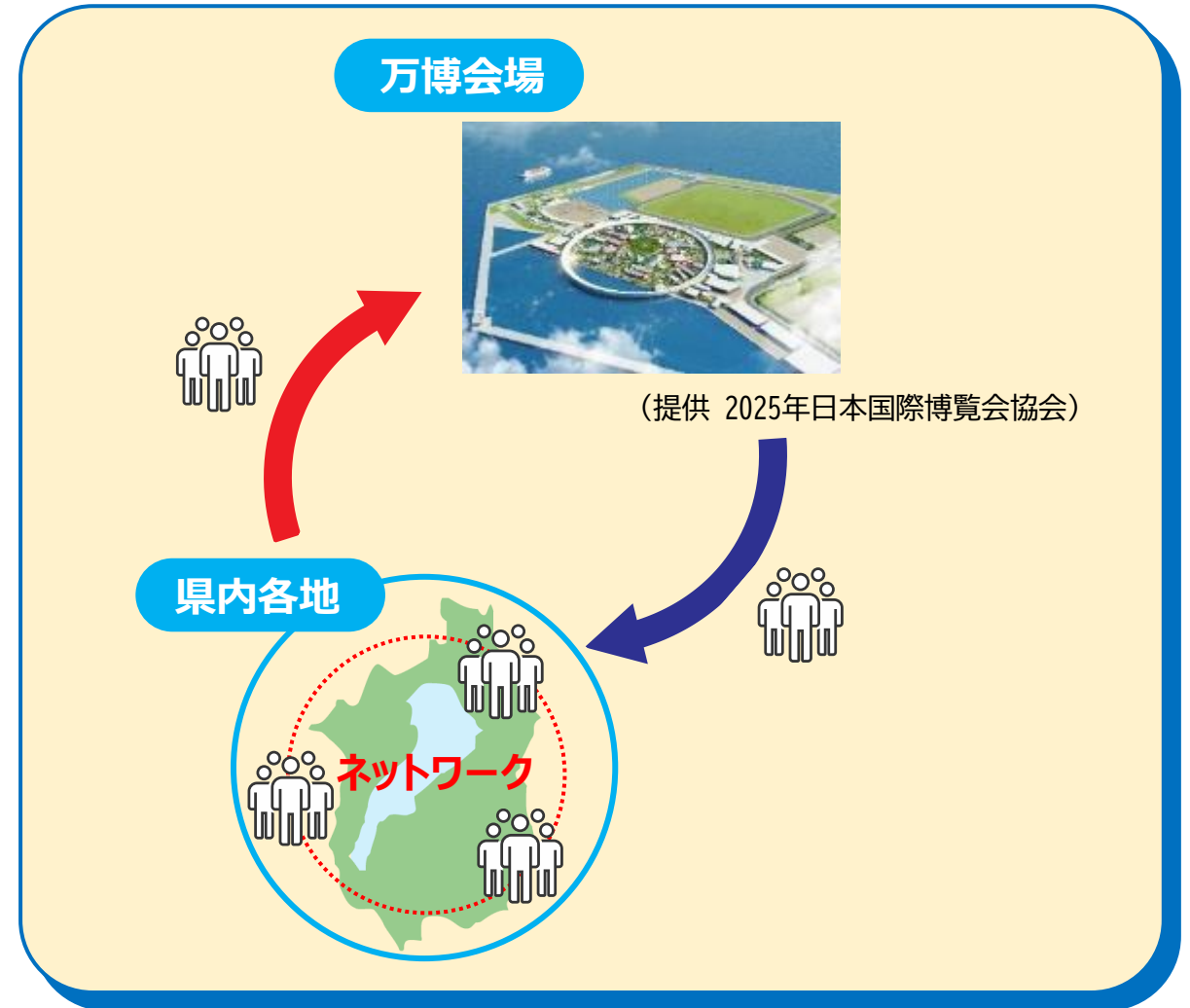
### 催事の基本方針

多様なネットワークを活かし、会期前から、県内で機運醸成を図るとともに、関西広域連合とも連携するなど、県外での認知度向上に取り組みます。

また、会期中は、万博会場内の催事施設や関西パビリオンの催事スペース、県内各地等、さまざまな場を活用してフォーラムやシンポジウム、商談会等の各種催事を展開し、観光誘客や移住促進、ビジネスチャンスの拡大等につなげます。

実施に当たっては、時期・季節や本県の動きと合わせた展開を検討するほか、「滋賀県ウィーク（仮称）」を計画し、会場内催事で滋賀への関心を高めるとともに、県内催事との連携により、本県への誘客を図ります。

あわせて、来県のみならず、県内での催事をきっかけとした万博会場への往訪も促進していきます。



オール滋賀で  
県民・事業者  
・市町と共創

「シガリズム」の  
観光コンテンツ  
制作

万博交流  
イニシアチブ  
活用

県内企業の  
魅力に触れる  
機会の提供

国スポ・障スポ等  
県内の動きとの  
連携

# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ②京都府 ※現時点の案であり、今後具体化を図っていく中で変更することがあります。

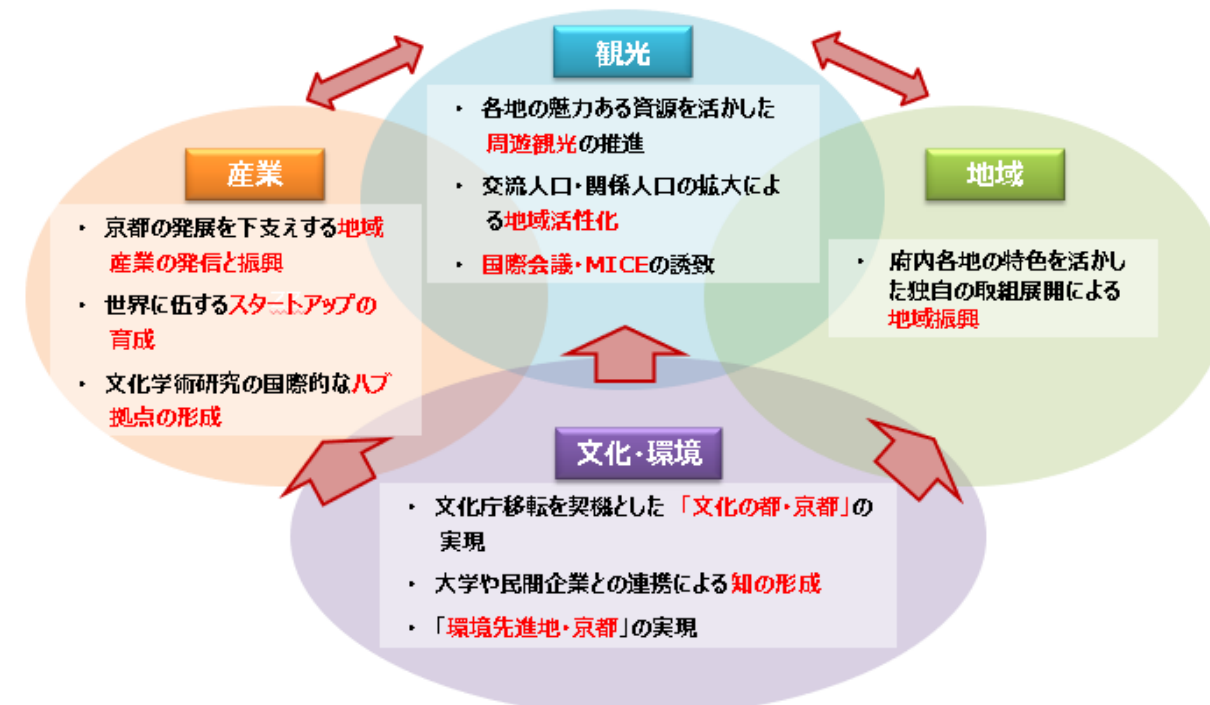
### 取組の方向性

- 古来より人や自然など様々な「いのち」との調和を図ってきた「文化・環境」、文化を土台にして発展してきた「産業」と「観光」、そして「地域」の4分野が密接に連携・融合した取組を実施。
- 府内各地に人や投資を呼び込むことで、京都府全域の活性化に繋げるとともに、人と人、企業と企業、文化と文化などの「新たなつながり」を創り、未来の京都を担う人や企業、文化を育てていく。

### 取組の考え方

- 「文化・環境」分野においては、西陣織、京友禅などの伝統産業、茶の湯や華道、食文化など、多様かつ奥深い文化を育み、自然との調和を図ってきた京都ならではの取組を進める。
- 「産業」分野においては、伝統産業から先端産業まで様々な産業が集積する京都の強み、そして日本の産業発展を支えてきた京都のものづくり産業の底力を生かした取組を進める。
- 「観光」分野においては、京都が培ってきた「文化・環境」や「産業」を生かし、京都府各地に人を呼び込み、交流と連携を生み出す取組を進める。
- 「地域」分野においては、府内全域で地域の特色を活かした独自の取組を積極的に展開し、地域経済の活性化、参加諸外国との交流など、**地域振興**をはかる。
- なお、これらの取組は便宜的に分類しているものであり、実際は各分野が密接に連携しながら、取組を進めていくことになる。

### <取組の方向性（イメージ）>



☆ オール京都体制にて、万博期間前・期間中の取組について、ポータルサイトの作成等による一元的な情報発信や、機運醸成・誘客促進のためのイベントを実施。

# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ③兵庫県



### ①ひょうごフィールドパビリオンの展開

・日本の縮図である兵庫県では、農業、地場産業、震災からの創造的復興など、様々な分野で地域の人々が主体的に課題解決に取り組んできた。そこには人類共通の課題解決にむけた多くのヒントが秘められている。そこで、地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開する。

⇒R5.2.28時点で**113件のプログラムを認定**、その内5件を「**プレミア・プログラム**」として選定した。

・認定したプログラムは、**国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラム**になるよう、プログラム提供者やサポート人材への研修、商品化支援などの**磨き上げ**を行い、受け入れ体制の向上に取り組んでいく。

・また、万博を契機とした兵庫への誘客を促進するため、**国内外に積極的にプロモーション**を行う。海外プロモーションにあたっては、友好・姉妹提携の状況や訪日外国人客数を踏まえてターゲットを設定し、展開していく。

⇒ひょうごフィールドパビリオンのプロモーションに向けて、取組に精通し、ストーリーテラーとなりうる方をアンバサダーに任命 (R5.3.28/3名)



ひょうごフィールドパビリオン

### ②兵庫県立美術館での魅力発信

・県内の情報発信拠点として、万博開催期間中「**&future HYOGO-持続可能な未来のヒント-**」を展開する。

・3Dアバターを用いた兵庫観光体験、子どもをはじめとした来場者参加型の展示、兵庫の地域資源を「見て、触って楽しめる」実物展示等を通し、**ひょうごフィールドパビリオンをはじめとした県内各地への誘客を促進**する。

・館内のミュージアムホールやアトリエ等を活用した企画イベントの開催も検討する。



### ③兵庫県版テーマウィーク・リージョナルデーの開催

・万博開催期間中、国際博覧会協会が実施するテーマウィークプロジェクトに連動し、**兵庫県が独自のテーマウィークを設定**し、県や企業、ひょうごフィールドパビリオンプログラム提供者が万博会場や兵庫県立美術館等において、**テーマに応じたPR事業を展開**する。

・併せて、市町や地域単位の情報発信などを集中的に行うイベントである**リージョナルデー「市町の日」**を展開し、県内各地の魅力を発信する。

県内41市町長、関係団体約400団体で構成する「**大阪・関西万博**」ひょうご活性化推進協議会 (R5.3.28設置)において、万博関連事業の情報共有による機運醸成を行い、**オール兵庫での取組を推進**

# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ④奈良県

### 取組の方向性

- ・ 会期前から、万博への機運醸成を高めるため、万博プレイベントやシンポジウムなどを開催することや、県実施のイベントでの万博ブース設置などにより、県民や県来訪者への万博認知度向上に取り組む。
- ・ 万博を契機に、奈良県を始めとする関西エリアの歴史文化について国内外に発信し、その価値を理解していただけるようプロモーションを展開していく。
- ・ 会期中の万博会場内では、大催事場やメッセ、日本伝統文化エリアなどの催事施設や関西パビリオンの多目的エリア等において、来場者に対し本県の魅力を伝え、認知度向上を図る取組を実施し、今後の誘客促進につなげる。
- ・ また、会期中に県内においても、万博とのタイアップイベントを開催するなど、県内全体で万博を盛り上げていく。

### 取組展開

#### 【会期前の取組例】

- 万博会期中に開催予定の自治体催事を県内でプレ実施
- 万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」やSDGsに関するシンポジウムの開催
- 県内イベントでの万博ブース設置やマスコットキャラクターのミyakの出演
- 本県の最大の強みである歴史文化などの価値を世界に広めるような観光情報発信を実施
- 万博を契機として、国内外に対するMICE誘致の実施



#### 【会期中の取組例】

##### ○万博会場

- 万博各催事場及び関西パビリオンの多目的エリアを活用し、万博のテーマに関する県内ゆかりの文化・観光・産業・農林・食等の魅力発信イベント等の開催

※ 今後、公募等の内定状況により、内容は変更します



##### ○県内

- 万博の催事との連動したタイアップイベントの開催
- 万博のテーマに連動した商談会実施によるビジネスチャンスの拡大
- 県内の魅力を体感できる周遊観光の実施



# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組

### ⑤和歌山県

検討中の内容のため、変更の可能性があります。

国内外との交流人口の拡大

#### 開催前

##### 機運醸成

万博成功に向けて、県内各地でのイベントやセミナーの開催、PRブースの設置などにより、機運醸成を図ります。

##### 県内企業・学校等の参加促進

多様な万博への参加方法について、メールマガジン等で情報発信を行い、県内企業や学校等の参加を促進します。

#### 開催中

##### 魅力発信

万博会場内の催事会場や関西パビリオン内の多目的スペースを活用し、県民や県内企業、市町村等の参加のもと、地域の伝統・文化や特色ある産業、食などをアピールするための催事やテーマウィークを開催します。

また、万博会場内だけではなく、県内全域で万博を共に盛り上げていけるよう、市町村等と連携し、イベントやシンポジウムを開催、世界遺産をはじめ豊富な観光資源を活かした体験プログラムを提供します。

#### 開催後

##### 万博レガシー

多様な価値観を尊重し合う「寛容の精神」の地・和歌山の特性を活かし、東京大学先端科学技術研究センターなどと連携し、先端技術と精神性を融合した「知の拠点」形成など、万博プラス1プロジェクトを展開します。

#### 最先端技術・デジタル環境の整備による新たなサービスの実証・導入

- 空飛ぶクルマの県内の環境整備を進め、万博開催期間中の実証運航、万博後の運航の実用化に向けて取り組みます。
- MaaSやメタバース、ワーケーションなどデジタル時代に適応した新たなサービス・ライフスタイルを推進します。

#### 誘客促進・産業の復興

弘法大師御誕生1250年、世界遺産登録20周年をプレ万博として、国内外への積極的なプロモーションを展開し、県内産業の復興に取り組みます。

#### 教育機会の提供

万博会場のみならず県内を教育旅行先として選択されるよう、和歌山ならではの「ほんまもん体験」の磨上げ・魅力発信に取り組みます。

#### 国際交流の創出

県内のグローバル人材の育成や海外の企業・学校等との交流を図るため、市町村と連携し、万博国際交流プログラムに取り組みます。

# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ⑥鳥取県

### 誘客テーマ「とっとり聖地巡礼」

#### 取組の方向性

- ・万博会場での展示・催事を通じて本県への誘客を促進します。
- ・県内での聖地巡礼イベントをはじめとする観光客向けイベントを開催し、万博会場内催事での本県への関心を高め、県内催事との連携により、本県への誘客を図ります。

#### 取組のイメージ

大阪・関西万博  
鳥取県ゾーン

本県独自の魅力である「まんが」「自然」「食」などを体感・体験できる世界を創出します！



連携

さまざまな世代の  
国内来場層  
海外観光客層

鳥取県ゾーンへ誘導

とっとり聖地巡礼へ誘導

#### とっとり聖地巡礼イベント

- ・万博出展を記念し、県内の観光聖地で観光客向けイベントを展開
- ・観光事業者と連携し来県者への特典も用意

万博鳥取県ゾーンでの  
情報発信・来県促進

県内の駅、空港、水木しげる  
記念館、青山剛昌ふるさと館  
など観光施設への来県誘導

鳥取砂丘での星空観察  
プロジェクションマッピング

鳥取砂丘でのアクティビティイベント

『父の暦』『遥かな町へ』  
描かれた現地への誘導

#### 来県促進



# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ⑦徳島県

### 徳島『まるごとパビリオン』（全県展開）計画



### 多様な人々をSDGsでおもてなしする「『お接待』文化・徳島」をまるごと体感

#### コンテンツ

##### 【未来・新技術の実装フィールド】

- 徳島発！未来技術「Beyond 5G」関連技術を実装・実演
- 高等教育機関による科学体感フェスティバル
- 「水素グリッド構想」による水素・脱炭素関連施設への誘客促進
- 「キュウロロボット」など新滞在コンテンツとアワーケーション多面展開による長期滞在促進
- DMVによるオリジナル移動体験のコンテンツ化

##### 【進取の気質に富む観光・ビジネス展開】

- とくしま「まるごとマチ★アソビ」として、県内全体で関連イベントを開催
- 阿波人形浄瑠璃、神代踊りなどあわ文化、無形遺産などの総合文化フェスティバル
- 県内事業者と全国からの出展者が集まる「食の博覧会」の開催
- 万博をフックとした国際会議や教育旅行の誘致・開催

##### 【SDGsが息づく徳島発のライフスタイルの体験】

- 徳島の強みを活かした「サステナブル・ツーリズムの実装」と「新たな観光ブランディング」
- SDGsに取り組む産地や生産者を巡るSDGs農村生産者体験ツアー展開
- 生産から消費までSDGsの視点による阿波ふんど体感の場の展開
- ベジタリアンやハラールなどに対応した飲食店拡大など、フードダイバーシティの展開

##### 【リアル×バーチャル×未来技術によるシナジー展開】

- 新たな海上交通や「とくしまa a S構築」による安心、快適、簡単周遊
- 「とくしまバーチャルパビリオン」の全県展開や企業バーチャル見本市による「インクルーシブ万博」実現

#### 【誘客に向けた展開】 拳県一致体制で徳島県を184日間楽しむ「まるごとパビリオン」化

- 旅行会社への営業等により訪日外国人を誘導する「EXPO旅行商品」の造成
- BtoB、BtoCの各種特典を設定する「まるごとパビリオン・インセンティブ」の造成
- 多彩な取組を「まるごとパビリオンコンテンツカレンダー」として展開
- コンテンツの「ターゲット別」整理とアクセスの整理

#### プレ2万博の展開による実証（2023）

まるごとパビリオンのコンテンツ候補をブラッシュアップし、検証する場として展開

##### 【展開例】

- 徳島の事業者によるテクノロジーを体験
- 帆船を活用し新たな海上交通の実証運航体験航海や内覧会など徳島の観光を巡るツアーの実施
- 世界初のDMV体験ツアー
- コンテンツ実証により、まるごとパビリオンラインナップに反映

#### プレ万博での展開（2024）

- プレ2万博での検証結果を反映し、万博本番を想定したまるごとパビリオンラインナップを一气通貫で実施（リハーサル）
- プレ万博を実施し、運営面での課題抽出・修正
- 万博イベント及び開催中イベントとして、徳島県のPR車両による全国展開等、徳島及び万博への来場を促進

#### シティドレッシング（街全体の万博装飾）

2023年度より、徳島県関連施設、スポーツ施設、主要観光地、学校、空港、ショッピングセンターなど、徳島の主要スポットで「大阪・関西万博」に向けた機運を高めるため、街全体を装飾するシティドレッシングを実施。徳島県全体で万博ムードを高め、県民からの期待感を醸成し、万博への参画意欲を高める取組とする。

### 徳島「まるごとパビリオン」進捗ロードマップ

2022			2023									2024				2025							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	4/13 ~ 10/13	10月 ~ 3月			
▲ 第3回拳県一致協議会 （国体等）			▲ 全県展開ラインナップ（仮案）制作 コンテンツ全県調査 リストアップ終了			▲ 第4回拳県一致協議会 （まるごとパビリオンラインナップ原案） ライナップ事務局（策）			▲ プレ2万博準備 ラインナップ（原案）の ブラッシュアップ検討 万博シティドレッシング			▲ 有効性検証・改善 プレ2万博 （プレ2万博の結果を受け ラインナップ案のとりまとめ） ・周遊ルートの改善 ・メインイベントの強化等 ・経済効果の算出			▲ 第5回拳県一致協議会 （まるごとパビリオンラインナップ決定）			▲ リハーサル プレ万博開催（6ヶ月間）		▲ 最終調整		▲ 万博本番 ポスト期間	



# 5. 行・催事計画

## (4) 府県域を活用した取組 ⑧福井県

### 基本方針

- ・万博開催前、開催期間中、開催後の段階に合わせ、WEB等を活用したプロモーションを実施
- ・万博開催前に県内外でイベントを実施し、関西万博の機運醸成
- ・関西パビリオン内の福井県独自展示スペースにおいて認知度向上を図り、そこで恐竜を体験いただいた方が実際に福井県内の恐竜博物館やその他観光地を訪れたいくなるような流れをつくる

### 取組みイメージ



会場バース図 (提供：2025年日本国際博覧会協会)

# 6. 運営計画

## (1) 基本的な考え方

来館者の安全安心を確保するとともに、快適に鑑賞できる環境をつくり、円滑なパビリオン運営をめざします。また、積極的な広報により関西パビリオンの意義や目的を伝え、認知・理解を広めることにより、関西全体での機運醸成につなげ、多様な価値観の交流、新たなイノベーションの創出、地域の魅力の再発見等、万博を契機とした人々の生活の質（QOL）の向上や地方創生の実現をめざします。

## (2) 運営計画

来館される全ての人々に向けて、施設面ではユニバーサルデザインの徹底を図るとともに、運営面でも乳幼児、高齢者、妊婦の方、障がいをもつ方、外国の方々など「誰一人取り残さない」というSDGsの考え方に則って、適切な配慮を行います。また、来館者や運営スタッフなどの動線計画を検討し、基本的な考え方に基づき確実に運営するため、建築・展示計画などとの調整を図ります。

博覧会協会で導入が検討されている予約システムを活用しながら、関西パビリオンの展示計画と整合させた具体的な導入プランを策定し、できる限り待ち時間の発生しない運営をめざします。また、国内外からのVIP来館を想定し、VIPルームの整備や接遇等により、適切なVIP対応を行います。

## (3) スタッフ計画

運営スタッフは、入場整理、館内誘導、警備、清掃等パビリオン全体の運営に係るスタッフと、大関西広場及び府県ゾーンで展開する展示をアテンドするスタッフ等が適切な役割分担のもと協働し、来館者に対しシームレスなサービスを提供していきます。

また、関係団体からの協力や府県市民によるボランティアなど、幅広く参加できる運営方法を検討していきます。さらに、開会直後から質の高いサービスを提供できるよう、計画的な募集・採用計画を立てるとともに、準備段階から接客サービスの教育や運営シミュレーション等を実施するなど、効果的・効率的なスタッフ採用・配置計画を策定します。

# 6. 運営計画

## (4) リスク対応方針

全ての来館者・参加者・関係者の安全安心を確保するための施設管理方針を策定し、機材やテクノロジーなどを活用した実効性の高い警備・衛生計画等の検討を行います。また、防火・防災・防犯のために必要な運営与件の整理を行い、建築計画と連動していきます。会場ロケーションも考慮し、地震や津波・豪雨・暴風などの自然災害や火災・事故・事件・傷病者の発生などの緊急時対策、感染症に関する対策やリスクヘッジ方法なども併せて検討していきます。

こうした安全安心確保のために、博覧会協会や府市関係部署とも連携しながら、想定されるリスクを検証し、対策を取りまとめていきます。

### 【運営計画における検討項目（案）】

	検討項目	内容
1	施設管理計画	組織体制、関係者入館管理、来館者予約管理、緊急時対応 等
2	運営・サービス計画	運営体制、運営要員配置、来館者入場管理、来賓・プレス対応 等
3	警備計画	警備体制、配置スケジュール、警備要員配置 等
4	清掃計画	清掃体制、館内清掃、ごみ処理、清掃要員配置 等
5	多目的エリア運営計画	運営体制、運営スケジュール、運営要員配置 等
6	大関西広場運営計画	運営体制、展示管理、運営要員配置 等
7	その他	什器・備品、館内サイン、運営予算、スケジュール作成 等

# 7. 万博後を見据えた取組

## (1) 広域周遊観光に関する取組

大阪・関西万博を契機とした関西広域周遊観光の振興を図るため、関西広域の周遊環境整備を促進し、万博開催中のみならず、閉幕後の周遊観光の充実・強化を図ります。

また、万博での取組を一過性のものとせず、ハード・ソフト両面にわたる多面的な取組により創出される有形・無形の「レガシー」を活用し、万博後も国内外から支持される持続性の高い観光を推進していきます。

## (2) 地域資源の魅力増進・再発見

地域の魅力は不変のものではなく、古くから認知され根付いている資源もあれば、かつては地域の重要な資源であったにもかかわらず埋もれてしまった資源、新たに生まれ磨けば輝く資源など、時代や社会により移ろいます。

関西広域連合や構成団体・連携団体がパビリオン出展や催事参加、府県域を活用した取組などを通じ地域活性化を図ることにより、地域の魅力の磨き上げや再発見を促し、地域の未来づくりを推進していきます。

## (3) 産業振興やビジネス交流の促進

関西パビリオンの展示で最新技術を取り入れることにより、技術革新や最新技術の利活用を促進し、産業振興につなげていきます。

また、万博には約2,820万人、そのうち海外からは約350万人の来訪者が見込まれ、最新技術の実践や未来のテクノロジーを実証する実験場となる万博会場には、ビジネス目的の来訪者も数多く訪れます。

半年にわたり世界のビジネス交流の中心地となる大阪・関西万博を契機として、関西の企業等にビジネス交流の機会を提供することにより、万博後の成長につなげることをめざします。

# 8. スケジュール

関西パビリオンの出展については、これまで関西広域連合構成府県市の知事及び市長で構成する広域連合委員会において、2021年9月にパビリオンの出展決定、2022年10月の建築計画概要の発表等、取組を進めてきました。

今後、今年度にはパビリオン建築工事、展示・運営計画の策定、WEBパビリオンの公開等、取組を本格化していきます。また、2024年度には展示工事や運営事業者の公募・選定などの取組を実施します。

博覧会協会や国、関係自治体、関係団体等と調整・協議・連携し、2025年4月の万博開催までに必要な準備が整うよう取り組んでいきます。

	令和4 (2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7 (2025)年度
全体		★ 現在 関西パビリオン出展基本計画公表		
建築	設計	建築工事 (2023.4 ~ 2024.7)		解体・撤去
展示	展示計画の検討	展示計画・展示設計	展示製作・設置工事	
運営	運営計画の検討	運営計画策定	運営事業者公募	パビリオン運営 (委託)
WEB		WEBパビリオンプレサイト運用	WEBパビリオン本格運用 (万博後の活用も検討)	

万博開催  
(4月13日 ~ 10月13日)

※関西パビリオン出展に係る事業費については、展示・運営計画や外構・内装工事の内容等を踏まえ検討・精査の上、提示していきます。